

さあ今年もやってきた！2、3月は1年でこの時期だけの**猿江のカエルの繁殖祭り**だ。冬の間は生き物が少なく、生物観察の機会が減る。そんな中で、久しぶりに生き物の大フィーバーに出会えるわけだから、この早春のカエル繁殖の観察は妙に興奮する。猿江公園のヒキガエルとアカガエルの繁殖の様子を観察し始めて、**今年で5年目**だ（このいきもの記も5年目）。

今年は暖かい日と寒波が交互に来て、さらに雨が全然降らなくて、ヒキガエルの出が非常に悪かった。なかなか一斉大集合とはいかず、ガマ合戦のピークにならなかった。毎日猿江に通うが、まだ出てこないのかーと、若干テンションが下がりつつも、**いつもはあまり注目していなかった小さな滝の下**を何気なく覗くと、、、んえ？！**アカガエルが何匹も集まっている！！**アカガエルは小さいし逃げ足が早くて、水に潜られるとすぐ見失うから観察が難しい。でもここは水深が浅い狭い場所だから逃げられてもすぐ追える！なんてことだ！こんな良い場所があるなんて、5年目で初めて知った！そこからは、頭をアカガエル脳にシフト。靴に水がしみこむのも、滝の水がバチャバチャかかるのも気にせず、アカガエルを間近で観察する。すると、驚くべきことが起きた。オスのアカガエルの前に、たまたまヒキガエルが通りかかると、、、なんと、**アカガエルがヒキガエルの足に抱きついた！**うわあああ！なんだこの可愛すぎる光景はー！！推しと推しのコラボレーション！！

繁殖期のカエルのオスは、動くものをメスだと思って飛びつく習性がある。だから、同じ場所にいれば**異種間での抱接**はよく起こることなのだが（ウシガエルがヒキガエルやアカガエルに抱きつかれているのは見たことがある。Vol.127参照）、ヒキアカの組み合わせは初めて見た！何より、サイズが違いすぎて足1本にしがみつく様子が可愛くてほっこりしてしまった。その後、抱接が解けたあとも、この2匹のファンサービスは終わらない。**ヒキのお腹の下にアカガエルが居座り**、ヤラセじゃないかと思うほど絶妙な撮影シーンになったのだ。アカガエルが**こちらを見て微笑んでいる**ようにさえ見える…。尊すぎて身悶えながらシャッターを切った。カエルがもっと多ければ、こんなシーンは当たり前に見られるのだろう。今年はたまたまアカガエルがたくさん出てくる日に当たったが、毎年オスとメスがペアになっている様子を見るのは1、2例くらいだし、オス同士の喧嘩は見たことがない。当たり前になるぐらい生き物がもっとたくさん増えてくれたらいいのになあ。



ニホンアカガエルのオスがヒキガエルの足に抱きついた！3月1日レンズに水がかかり、ややボヤけた写真になってしまったが、面白いシーンを捉えた。ヒキガエルは嫌がって動き回っていた。



今シーズン見られたニホンアカガエルのペア

今年は2組の抱接ペアを見ることができた。卵は例年20個ほどあるので、ペアはもっとたくさんいるはずだが、なかなかタイミングよく見ることはできない。



ヒキガエルの足元に収まったアカガエル

左と同じ2匹。こんな可愛いシーンをありがとう！と感謝しながら写真を撮った。このアカガエル、微笑んでるように見えない？



冬眠から覚めて水場に現れたメス

お腹が大きく膨れている。



2匹のオス 猿江ではアカガエルのオスの喧嘩（蛙合戦）を見たことがない。オス同士がこんなに近づいているのもあまり見ない。